

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社KIS

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、各フロアに掲示している。 ・経営者は年に1回以上事業方針説明会を開催し、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・従業員は、経営理念に従い、経営目標の達成に向けて取り組んでいる。								8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・『KISグループ行動規範』を策定し、全従業員に配布してコンプライアンス遵守に努めている。 ・従業員に向けて年に1回コンプライアンス研修を実施している。																		16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・「競合他社との接触に関する規程」及び「贈収賄防止基本規程」を策定して、社内ポータルサイトに掲示している。 ・不正競争防止について『KISグループ行動規範』に掲載し、社員への周知を行っている。																10				16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・コンプライアンス、環境、品質を管理する、経営管理本部が対応している。 ・コンプライアンス、社会環境、品質やセキュリティなど、担当部署を設置し体制を整備している。																				16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産権の保護と活用について『KISグループ行動規範』に掲載し、社員への周知を行っている。									8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・プライバシーマークを取得している。 ・情報漏洩防止に関する規定を整備し、社内教育を定期的実施している。																				16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・自社ホームページにて問い合わせが可能なページを作成しており、メール又は電話にて受付を行っている。 ・定期的にユーザー向けのCS調査アンケートを実施し、顧客の声に耳を傾けている。 ・特にクレームに関しては、別途管理を行い、再発防止に取り組んでいる。																			16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10			12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		熊本地震の経験を踏まえ、BCP規程を策定している。										9			11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導・育成を目的に管理職研修を毎年実施している。									8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・自己申告、並びに無記名のES調査等で調査を行い、確認している。 ・コンプライアンスホットラインを設置し、各種ハラスメントの予防、把握に努めている				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		社内に衛生委員会を設置して定期的に開催し、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理を徹底し、長時間労働が発生しないよう全社で取り組んでいる。 ・有給休暇の取得を推奨し、またテレワーク、フレックスタイム、時短勤務等々の勤務形態を導入し、ワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・全社員が受講可能な教育研修を毎年計画し、実施している。 ・資格取得の報奨金制度を設けている。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・法令に従い全社員が健康診断を受診している。また健康診断後の再検査費用を会社が負担し、再検査受診率の向上を図っている。 ・インフルエンザ予防接種の補助を行っている。 ・ストレスチェックを行い、社員のストレス状況を把握している。 ・過重労働防止に取り組んでいる。(労働時間の適正管理) ・健康情報を発信し、食事改善・運動習慣・睡眠改善等の効果を促している。			3					8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		身障者雇用及び身障者が働ける環境を整備している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・在宅勤務(テレワーク)を導入して、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・社員の働くデスクにはアクリルパネルを設置して、感染対策に努めている。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		プライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9			12								

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	産業廃棄物を処理する際は、許可を得た業者を利用して廃棄処分を行っており、廃棄処分のマニフェスト伝票も適切に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・電力使用量を毎月取得して、電力量を測定している。 ・社内の蛍光灯をLED化して節電に努めている。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	全館空調設備の利用量が測定できる設備により、利用量を測定し、排出抑制に取り組んでいる。 会社電力使用量を基に、CO2排出量を算出し、排出抑制に取り組んでいる。4-10月の対前年比で91.4%となっており、今後も計測を続けていく。 (九州電力公示の係数による算出)		2.4						7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	仕入調達を行う際は、環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を配慮している。							6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	社内のトイレ便器を節水機能の高い便器に全て入替を行った。 ※2021.9月実施		2.4						6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	再生用紙利用を推進している。													12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7			13.1 13.3	15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5			14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2			13.1 13.3		
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.17



製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	ISO9001(品質マネジメントシステム)認証を取得しており、品質を確保する仕組みを構築している。		3.9				9		12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	社内では身障者も勤務しており、スロープや身障者用トイレ等の身障者が働ける環境を整備している。						9.1	10	11.7								17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3	2.4		7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●					7						12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●	IoT・AI・ビッグデータを活用したSmart Factory Solutionにより、お客様の会社改題を解決するサービスを提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3	2.4				8.2	9.2	9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・周辺の公共施設及び他会社様で行事等がある際には、当社の駐車場を貸し出している。 ・近隣の保育園より勤労感謝の日にあわせて来訪イベントを受け入れている。 ・不定期ではあるが、大規模災害時など被災地支援を目的に寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・定期的に避難訓練を行っている。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・ハザードマップを社内ポータルサイトに掲載し、従業員に周知している。				4						11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		1.5		3	4					10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●									9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	高校生、大学生向けインターンシップを実施している。				4				8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●					4.4				8.5	8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3	4.4	4.5		8.6		10.2		12	13	14	15	17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。